

東大和市議会平成18年第5回総務委員会記録

平成18年11月2日（木曜日）

出席委員（8名）

委員長	大 后 治 雄 君	副委員長	中 間 建 二 君
委員	二 宮 由 子 君	委員	森 田 憲 二 君
委員	押 本 治 雄 君	委員	木 下 光 雄 君
委員	松 浦 誠 君	委員	尾 崎 保 夫 君

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員（5名）

事務局長	石 川 和 男 君	事務局次長	西 永 宣 昭 君
議事係長	小 島 裕 治 君	主 事	新 井 利 恵 君
主 事	三 浦 文 一 君		

出席説明員（3名）

助 役	小 飯 塚 謙 一 君	企画財政部長	浅 見 敏 一 君
企画財政部 副 参 事	宮 鍋 和 志 君		

会議に付した案件

（1）所管事務調査

第2次行政改革大綱推進計画について

午前 9時29分 開会

○委員長（大后治雄君） ただいまから平成18年第5回東大和市議会総務委員会を開会いたします。

○委員長（大后治雄君） 所管事務調査、第2次行政改革大綱推進計画について、本件を議題に供します。

当委員会において要求いたしました第2次行政改革の期間に行った新規事業の資料が提出されておりますので、初めにこの資料につきまして市側の説明をお願いいたします。

○企画財政部長（浅見敏一君） おはようございます。

9月13日の総務委員会におきまして資料要求いただきました第2次の行政改革期間、これは平成14年から18年の5カ年間でありますが、この間に立ち上げました新規事業につきましての資料を御用意させていただきました。各年度の事業につきましては、基本計画あるいは実施計画などに盛り込まれていたもの、これらを実施したということと同時に、その年次におきましての住民サービスの向上のために新たに取り入れた事業もございます。これらが盛り込まれております。なお、行政改革大綱の基本目標あるいは改革課題に一方では取り組みながらも、住民福祉の諸施策を展開したという内容でございます。

本資料につきましては、お手元にお配りしておりますが、各年度別にスタートした時期、項目、内容を盛り込まれております。14年度から18年度でありますが、17年度までは既に決算を経ておりますので、決算額を表現しておりますが、18年度につきましては年度途中でございますので、事業の予算ベースでの表現をさせていただきます。これらが年度別に表現しておりますけれども、明らかに新規的なものとして一つづくりをいたしました。

その次に、参考までに小学校及び中学校の環境整備の關係の事業、これらで新たに取り組んだものも記載させていただきました。もう一つ用地買収の關係、これは都市計画事業ということで、これらの用地買収につきましても合計で5件を記載させていただきます。なお、これらを合計いたしますと、新規としてくくったものを合計いたしますと58件ございました。小学校の環境整備事業につきましては36件、中学校環境整備事業につきましては12件でございます。都市計画道路の用地買収については5件ということでの内容でございます。

それではこの資料に基づきまして、行政改革担当副参事の宮鍋よりこれから御説明を申し上げたいと思っておりますが、なお説明時間につきましては、本日資料お配りしておりますので、少し時間をかけまして御説明させていただきますと思っております。

よろしくお願ひ申し上げます。

○企画財政部副参事（宮鍋和志君） おはようございます。

それではお手元の資料をごらんいただきながら説明させていただきます。

1枚あけまして、14年度でございます。14年度を4月から3月まで月ごとに資料をつくってみました。まず4月には子ども家庭支援センターを開設しております。14年4月から業務を開始しまして、14年度で延べ相談件数580件ということになってございます。こちらは行政改革の新規計画にも載っております。そういうことでございます。事業費なんです、こちらには書いてございませんが488万円程度使用させていただいております。

同じく4月に子育てひろばの充実でございます。これは委託先を大和南保育園に加えまして、14年4月より誠愛保育園へ委託を開始したということになってございます。事業名としては、子育て相談事業、子育て啓発

事業、これらを行ってございます。事業費は332万円でございます。

7月になりますとシルバーピア清原の開設、7号棟シルバーピア14世帯、34号棟シルバーピア15世帯、こちらは都営なので建設費はございません。ただ備品購入費等をちょっと見たんですが、113万円程度備品購入をしてございます。

7月にはブックスタート事業を開始しております。3、4カ月児対象の健康診断時に絵本等を配布してございます。こちらは、事業費は14年度は142万円程度使ってございます。

8月には平和月間の設定をしてございます。ただいま平和月間は大体定着してきている状況でございますが、14年度この年から平和月間として設定させていただいております。この年は最初の設定でございましたので、シンボルマークを市民公募しまして、それを掲載した横断幕、ポスター等を作成しております。あわせて平和月間ということで、今までばらばらに行っていた企画課、中央公民館、中央図書館、郷土博物館のそれぞれの平和事業を平和月間ということで期間を合わせまして、強化して実施してございます。

12月には第三次基本計画を策定させていただきました。総合計画審議会の答申をいただきまして、全員協議会で説明させていただいて決定してございます。

同じく12月は、東大和市駅エレベーターの供用開始でございます。こちらは、正確にはエレベーターとエスカレーターと身体障害者用トイレの三位一体です。事業費は1億6,359万円なんですが、このうち3分の1を市が負担ということになってございます。

同じく12月、高齢者在宅サービスセンターのサービス開始でございます。名前は東大和市高齢者在宅サービスセンターきよはら、東大和市在宅介護支援センターきよはらと。こちらは、建設費負担金は、14年度分は1億1,631万8,122円になってございます。

次にいきまして、2月に、こちらはコミュニティバスを運行開始させていただいております。2月1日から運行開始でございますが、バス停の箇所が87カ所、標識が92基設置です。事業費が9,251万円程度でございます。細かく言うと9,251万8,784円になりますが、おおむね9,251万円ということでさせていただきたいと思っております。

同じく2月には農業フォーラムの開催です。ハミングホールを使いまして、参加人数は200名御参加いただいております。こちらは事業費は33万4,500円ということになってございます。

同じく3月、休日急患診療所再築です。こちらは、契約金額は6,973万2,600円になってございます。鉄骨造の2階建てでございます。こちらが一般的な事業なんですが、教育委員会の方の小学校と中学校というのを別枠で起こさせていただきました。ちょっと簡単に見ていただきますと、まずこちらには通常のプールの例えば塗装の塗り替えとか、壊れた門の撤去とか、そういう今までのものの修繕とか、そういうものは含んでございません。新しく実施した事業ということで課題をいただきましたので、新しくコンピューターを設置したとか、クーラーを設置したとか、そういうものを拾い出すことにしました。

耐震診断委託としまして、二小で273万円。コンピュータ教室整備工事で、一小で2,307万9,000円。クーラー設置工事で、三小の職員室、五小の職員室、八小の職員室、それぞれ275万1,000円、229万9,500円、255万1,500円になってございます。扇風機の設置工事もしております。一小・二小・三小・四小・五小普通教室、こちらは456万7,500円、六小・七小・八小・九小・十小普通教室、こちらは270万9,000円でございます。

同じく、こちら中学校でございますが、クーラーの設置工事をしております。一中職員室、音楽室、四中、五中音楽室、こちら事業費は1,076万2,500円。二中の職員室、普通教室4教室分、こちらは953万4,000円にな

ります。同じく扇風機工事です。一中、三中、四中、五中普通教室になります。こちらは事業費は228万9,000円になります。

それから今回取り上げるに当たって、都市計画道路のこともかなり市民の皆さんは注目されている項目でございますので、それを落とすわけにはいかないと思いまして挙げてみました。3・5・20号線用地の用地買収ということで、事業費は4,823万3,010円でございます。

引き続きまして、15年度にいかせていただきます。

4月に、習熟の程度に応じた少人数学習指導員を配置しております。これは1学級を2グループに分割しまして、きめ細かい指導が行えるように学習指導方法とか学習形態等を改善・工夫する研究をするということになります。17年度までの3カ年を目途に研究を実施したものでございます。場所は四小に2名、七小に1名、二中に1名を配属しまして、少人数学習の研究をしたものでございます。こちら事業費は588万円になってございます。

同じく4月に学校図書館指導員配置、こちら児童・生徒の方が読書活動を身につけることができるようにする研究を17年度までの3カ年ということで研究いたしました。一小に1名、三小に1名、三中に1名を配置してございます。こちらの事業費は308万7,000円ということになってございます。

7月ですが、図書館のホームページを開設してございます。7月1日から開設しまして、あわせてインターネットによる蔵書検索とか、CD-ROMの閲覧を供用開始してございます。こちらは事業費は40万9,750円ということになってございます。

また8月には平和事業の充実ということでですね、例年各課で平和月間ということでやっているんですけども、それに重ねて平和文集をこの年から発行してございます。

次に8月、住民基本台帳ネットワークシステム第2次稼働の実施でございます。こちらは住民票の写しを広域に交付できるように、あるいは転入転出手続の簡素化及び希望される市民への住民基本台帳のカードの交付を実施してございます。こちらは、事業費は1,273万2,615円になってございます。

9月には事務用パソコンの整備をしました。20台パソコンを整備してございます。こちらは、事業費は701万8,200円になります。

同じく10月には精神障害者地域生活支援センター「ウエルカム」を開設してございます。こちらは、事業費は1,358万3,191円になります。

同じく2月には商業フォーラムを開催させていただきました。こちらは、2月10日付でハミングホールで、参加人数178名、事業費は27万150円ということになってございます。

3月には総合行政ネットワーク（LGWAN）の接続をいたしました。こちらは、工期は15年12月10日から16年3月3日まででございます。事業費は12万4,950円、サービスの提供設備等の購入につきましては、こちら事業費が777万円かかってございます。

引き続きまして、同じく3月に、こちらはソフトの関係でございますが、情報化推進計画を策定させていただいております。恐縮ですが1字文字が足りませんので、ちょっとつけ加えていただきたいんですが、情報化推進計画策定のところで、（1）、（1）、（2）となっておりますが、2番目は（2）で、（2）は（3）になります。それから、東大和市電子計算組織に係る個人情報「保護」という字が抜けてございますので、保護という字を恐縮ですがつけ加えていただけたら幸いです。

引き続きまして、同じく小学校環境整備、こちらは先ほど説明しましたので、大体同じようなことでござい

ますが、耐震補強工事の設計委託、コンピュータ教室整備工事設計委託、校舎耐震診断委託、クーラー設置工事、こちら合計で2,591万4,000円になりますが、こういうのが小学校で整備させていただいてございます。

同じく中学校は、耐震診断調査委託第二次診断委託の方ですが、二中で441万円、クーラー設置工事、一中心障学級1教室、それから三中、四中のそれぞれ職員室です。こちらは、事業費は734万円になります。

同じく用地買収の方ですけれども、3・4・26号線で5,156万2,992円、3・5・20号線で4,578万353円になってございます。

16年度に引き続きいかせていただきます。

4月には中央図書館で夜間開館を週1回から週2回に充実させていただいております。今までが水曜日だけだったんですが、金曜日を追加ということになります。水金それぞれ夜7時までということになってございます。

次に、訪問相談業務の実施でございます。これは不登校児童・生徒の方の支援を目的ということで、訪問相談担当2名を配置させていただいております。相談件数は、16年度で230件ということになってございます。

次に、4月に六小の通級指導学級の新設でございます。こちらは1学級設置で、事業費は538万8,000円になります。

6月は住宅・店舗リフォーム資金助成制度開始です。住宅が114件で、補助金額としては618万6,000円になります。店舗につきましては、5件で補助金額は14万7,000円でございます。

7月には事務用パソコンの整備をさせていただきました。こちらは20台で事業費は607万9,500円になります。

8月には平和事業の充実ということで、また平和文集の第2弾ということで発行させていただいております。

10月は学童保育所第四クラブの改築になります。120平米で2,656万5,000円の事業費でございます。

10月は小学校コンピューターを導入させていただいております。二小、三小、五小、七小のコンピュータ教室に電算機器を導入しまして、各校21台でございます。

同じく10月に中学校コンピューターの導入でございます。一中から五中のコンピュータ教育室に電算機器等を導入させていただいております。各校41台配置してございます。

12月には東大和市環境基本条例を制定させていただきました。

同じく12月には電子調達サービス運用開始でございます。こちらは16年12月1日運用開始で、工事、委託、備品等の各契約事務のうち、資格審査受付についてインターネットを利用してできるように運用を開始したものでございます。

同じく1月には電子申請サービスの運用を開始してございます。こちら電子申請が可能な手続としましては、住民票の写しの交付請求ほか、全部で11件受け付けることができるようになってございます。

続きまして、同じく1月なんですが、こちらは職務給を導入させていただいております。給料表を2表化するとともに、職務の複雑、困難及び責任の度合いを反映した構造にさせていただきました。

2月には東大和市次世代育成支援計画を策定してございます。17年度から21年度までの計画となっております。

2月には今度は工業フォーラムを開催しております。ハミングホールで、参加人数は170名、事業費は32万2,950円となっております。

3月にはホームページを再構築ということで、新しくさせていただきました。3月1日から新ホームページを運用開始してございます。

同じく3月には情報セキュリティポリシーを策定させていただいておまして、個人情報の漏えい等ないように努めてございます。

同じく3月には東大和市男女平等を基本とした男女共同参画の推進に関する条例を制定していただきました。

同じく3月には東大和就職情報室を開設してございます。こちらはハローワーク立川が会議棟1階で運営していたものを、もっと幅広く利用していただけるようにということで本庁舎5階に移転しまして、東大和就職情報室として新たに開設したものでございます。施設整備費は89万3,228円になってございます。

同じく3月にはせん定枝再資源化事業を開始してございます。こちらは市内の農家の方を対象に、果樹畑等から発生する枝をチップ化して、それを堆肥の原料とか土壌改良材に利用して、ごみの発生を抑えるという事業でございます。こちらは、事業費は4,418万8,000円になります。

引き続きまして、小学校の方です。同じようなことです。耐震診断とか、コンピュータ設置、それからクーラー設置、耐震補強工事、これを合計しますと1億3,127万円余りになります。

同じく中学校でございます。耐震補強工事設計、それから校舎等耐震診断、クーラー設置工事、耐震補強工事、こちらは合計しますと1億169万400円になります。

先ほども申し上げましたとおり、こちらあたりにはプールの補修とか修繕関係は載せてございません。

続きまして、道路の関係でございますが、3・4・26号線の用地の買収で522万5,664円、3・5・20号線の用地買収で7,884万9,848円を使って事業をさせていただいております。

17年度でございます。

4月には子ども家庭支援センターの移設をしております。保健センターの別館を一部改修して移設してございますが、事業費は1,221万6,917円でございます。

同じく4月に一時保育事業を実施させていただいております。子ども家庭支援センター内の一時保育室でございます。定員は5名でございます。17年度の利用件数は1,123件ということになりました。

同じく5月には例規データベースシステム導入委託をしております。例規集・要綱集の例規検索システムを構築しまして、各課の端末で見ることができるようにしました。あわせて一部単行本形式を残しまして、それからあとCD-ROM等も作成してございます。事業費は、このときは416万3,775円でございます。

同じく7月には中央図書館の視聴覚資料サービスの充実でございます。CD、カセットテープは今まで予約はしてございませんでしたが、このときから予約を受け付けさせていただくことになりました。充実ということになります。それから事業費はこちらは特にございません。

同じく7月には事務用パソコンを整備させていただいております。20台設置でございます。

7月には公共ネットワークの整備をしております。本庁舎で整備されている情報通信網の拡張として、本庁舎及び市内公共施設等のネットワーク環境を構築いたしました。

続きまして、7月から8月にかけて、個人情報の保護は絶対命令でございますので、セキュリティ研修を実施いたしました。受講者は63名、こちらは事業費は特にございません。

同じく8月には平和事業をやはり実施しております。今度は、こちらは平和市民のつどいというのを新たに17年8月19日に行わせていただきました。

同じく9月には例規集のホームページでの公開を開始しております。ホームページで市民の方が例規集を見ることができるようになってございます。

10月には東大和市防災情報マップを作成してございます。各戸に配布してございます。3万4,000部。こち

ら事業費は50万330円ということになってございます。

同じく10月に国民健康保険証のカード化を実施してございます。発行件数は1万5,548件、一般分が1万2,074件、退職者分が3,474件ということになっております。こちらは事業費、17年度決算額で1,672万5,942円、これはシステム修正等も含まれます。そういうことになってございます。

10月には学童保育所第八クラブを改築させていただきました。事業費は2,982万円でございます。

11月には平和広場の通称名を命名ということになりました。東京都に承認依頼をいたしまして、17年11月9日、東京都から承認通知が届いてございます。

11月には就職援護事業開催ということで、中央公民館のホールで2回開催してございます。こちらは事業費は特にございません。

同じく11月に小学校にコンピューターを導入させていただいております。21台でございます。

翌年の1月には滞納管理システムの導入ということで、収納率の向上を目指しまして、滞納管理システムを入れていただいております。事業費は、滞納管理システムプログラムの作成委託料で1,459万5,000円、滞納管理システム電算機器賃借料、これは5年分でございますが、3,592万9,000円になってございます。

3月になりますと東大和市第三次地域福祉計画を策定しております。こちら18年度から22年度の期間になります。

同じく3月に第3期東大和市介護保険事業計画策定をさせていただいております。こちらの計画期間は18年度から20年度です。

同じく3月に小・中学校全校にAED（自動体外式除細動器）、こちらを各1台配置させていただいております。15校でございますので、事業費は472万5,000円になっております。

同じく今度は小学校、中学校のそれぞれの環境整備の件でございます。耐震診断設計委託とか校舎の耐震診断、それからコンピュータ教室、クーラー設置等でございます。17年度の小学校だけで1億6,375万5,900円になります。

同じく中学校の方も耐震補強工事関係でございます。こちらは合計しますと454万6,500円になります。

引き続きまして、今度用地買収ですが、17年度は3・4・26号線と3・5・20号線、こちらの用地買収をさせていただきました。それぞれ事業費は7,341万8,460円と、5,301万5,560円になります。

引き続きまして、今度18年度最終年度でございますが、現年度でございます。

ことしの4月に入りまして、個人情報保護条例を施行させていただいております。

同じく4月には地域包括支援センターに指定管理者制度を導入させていただいております。南部地域包括支援センターでございますが、こちらは実績の事業費が2,277万4,700円ということになってございます。

同じく4月に高齢者在宅サービスセンターに指定管理者制度を導入させていただいております。高齢者在宅サービスセンター「むこうはら」と「きよはら」それぞれでございます。

同じく4月に子ども家庭支援センターの開所日を充実させていただいております。従前が月曜日から金曜日の開所だったんですが、土曜日の開所を充実ということで開始させていただいております。

同じく4月に通学区域の変更をさせていただいております。七小と九小の通学区域を一部変更になっております。こちらは事業費は特にございません。

同じく4月に習熟の程度等に応じた少人数学習指導員の配置でございます。15年度から17年度まで3年間の研究を先ほどさせていただいておりますということで御説明しましたがけれども、その研究の成果を踏まえて本格実

施ということになりました。四小が2人、五小が2人、七小が1人、十小が1人、二中が1人、五中が2人配置になってございます。21年度までに全校配置の予定でございます。

同じく4月に学校図書館指導員配置でございます。15年度から17年度まで3年間の研究成果を踏まえて、やはりこれも本格実施させていただいております。一小、三小、八小、九小、一中、三中に各1名配置になってございます。

今度は6月でございますが、清原市民センターを開館させていただいております。6月5日開館です。清原老人福祉館及び清原地区会館の供用開始ということでございます。清水出張所は6月3日付で廃止とさせていただきます。

6月から10月にセキュリティ研修を実施してございます。受講者は175名、こちら事業費は特にございません。

6月から来年の2月にかけて公共ネットワークの整備をさせていただく予定でございます。本庁舎内で整備されている情報通信網（庁内LAN）の拡張として、本庁舎及び市内公共施設間のネットワーク環境を構築するものでございます。こちらは、整備施設数は16施設、清原市民センターと各小・中学校15校ということでございます。

同じく7月には事務用パソコンの整備を20台させていただいております。

同じく7月にインターネット環境の充実ということで、市内公共施設、これは小・中学校を除きますが、インターネットを使用できるようにするため環境を充実しました。整備施設数は23施設でございます。

続きまして、8月にこちらも平和市民のつどいをこしもさせていただいております。

それから10月に東大和市民保護協議会条例を制定していただきました。こちらは組織運営に関する規定でございますが、事業費は24万5,000円になってございます。

10月に小学校のスクールガード事業を開始させていただいております。スクールガード養成講習会、スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等でございます。事業費は18万2,000円になります。

来年の1月になりますが、清原図書館を開館させていただく予定でございます。

同じく来年の3月でございますが、東大和市環境基本計画を策定させていただく予定でございます。こちらの計画期間は19年度から28年度となっております。

同じくこれは12月以降の予定でございますが、空堀川の管理用通路街路灯の設置を計画してございます。こちら事業費は1,410万円になります。

引き続きまして、同じように小学校の環境整備と中学校の環境整備です。内容は、校舎等の関係が入っております。

以上でございます。

○委員長（大后治雄君） 説明が終わりました。質疑、御意見等がございましたら御発言をお願いいたします。

○委員（森田憲二君） まずもって、大変まとめて御苦労さまでしたと申し上げておきたいと思っております。

それで総体的にどこがどうでこうでという話じゃなくて、市の単独事業はどのぐらいあるのか。要するに予算的に都とか国の方の交付金含めて、この事業にかかわって市が単独でやったやつ。数字だとか云々じゃなくて、件数だとか、細かいパーセントじゃなくて、大体概略でいいですからお願いしたいと思います。

聞き方悪かったと思うんだけど、単純にこれだけの数字まとめるの大変だと思うんですよ。根拠となってきたものに関して、この事業は国のまたは都の、学校含めても、耐震とかいろいろあると思うんですけど、市単

独でやったっていうのは、これでどれぐらいあるのか、細かい数字はいいですから、なかったらいいですから、その辺ちょっとお聞かせ願えればと思います。

○企画財政部副参事（宮鍋和志君） 大変恐縮でございますが、今日は準備がそこまでできておりませんで、市の単独の事業の件数、それから金額等はちょっときょうは持ってございません。恐縮でございます。

以上でございます。

○委員（森田憲二君） 細かい話聞いてんじゃないくて、要するに資料があるとかないとかじゃなくて、今まであなた方つくってきたわけでしょ、これを、要は。というのは、その平和事業は市単独でやりただけでもいいと思うのよ。それがなぜわかんないの。細かい数字をおれ聞いてんじゃないんですよ。要はこれだけまとめた中で、都の補助金だとか国だとか、そういったことを市の単独事業でやるのは結構なんだけど、本当にこれは市の単独事業だと言えるものは、だってわかんなかったら、これただ単に資料まとめただけって話にしかなんじゃないの。その辺別に責めてるとかじゃなくて、それ聞きたいと。だから今資料があるとかないとかじゃなくて、これをまとめた中でヒアリングやったと思うんです。この数字もただ単に市の税金の方で全部重ねて出したのか、それともいろんな助成事業等々もあると思うんです。その辺でもう一度再度お聞かせください。（「関連で」と呼ぶ者あり）

○委員長（大后治雄君） 関連。

○委員（尾崎保夫君） 毎年この時期になるといろんな補助事業も含めた事業の財源別の内訳表ってのが大体つくられてきてると思うんですけど、それはできつつあるんでしょうか。それが出てくると、これとリンクさせると中身がよくわかるかと思うんですけど、その辺はつくられてんですか。

○企画財政部長（浅見敏一君） 財源別、事業別一覧ということで、これは例年年度ごとに用意させていただいておりまして、今回でき上がったのは17年度の決算に基づきまして各事業の財源内訳ということで事業別を御用意させていただいておりますので、お配りするように今手配してございます。

それから先ほどの単独で事業ということで、非常に個々の内訳を明確に表現せずに申しわけございません。市で単独でそれぞれ行ったものを項目別ですべて今お答えできなくて申しわけないんですけども、それぞれ、先ほどおっしゃいました平和月間の事業、これらも当市での単独事業でございます。あるいは整備的なもので、駅のエレベーターの工事とか、これは補助金等もいただいておりますが、当市におきまして独自にやったものとか。あるいはそれぞれ在宅サービスセンターであるとか、こういったものも備えております。これを個々の事業で新たに開始したものを今回は抜き出すということで行っております。これで事業別にそれぞれ事業費をお出ししたわけですけども、さらに財源別に整理しておきたいと思っております。ちょっと答弁が不足で申しわけございませんが、そんな状況でございます。

以上です。

○委員（森田憲二君） ありがとうございます。

要はね、何を聞きたいかっていうと、市の単独事業は単独事業で結構だと思うんです。それで補助金もらったとか云々なんていうのは、補助金の制度があるから申請したのか、要は。たまたまこういう制度があるからこういうものを利用しましょうよっていうことで使ったのか、それとも逆に市単独でもって事業をやったときに、新たに都や国の方にそういうふうな形で、こういう事業をしたいんだけど、これに対する補助金をつけてくれないかと、その二つの方法があると思うんです。逆にね、市の単独だ、単独だと言いながらも、これは逆に考えりゃ一般質問で出てきた問題ばっかですよ、これははっきり言って、要は。市の単独でもってやってきた

事業っていうのは、その中で逆に考えりゃ一般質問をこん中でまとめたのがただこうなただけって話にしか
なんないと思うんですよ。空堀川の、ここで河川の方の遊歩道、そういったことについてもいいんだけど、結
構だと思うんですよ。ただそういったことはここでつけんじゃなくて、空堀川の改修のときにもうその話が出
てなくちゃおかしい話でしょう。言われてからやるんじゃないで、こういう事業がありますよと、また逆に考
えりゃ都市計画の方の用地買収なんかもしかしても結構。だけど、用地買収した後に必ず街路灯だとか街路樹だと
かいろんな問題が発生するわけですよ。その辺の取り組みはどうなってんだっていうことでお聞きしたいんで
す。

ですから数字だとか、この本当の行革の中の本質論になっちゃうかもわかんないんですけど、実際ね事を行
うに当たっては最後の最後まで計画だとか立てて、言われたからやってきたのがほとんど今までの流れだと思
うんですよ。空堀川の方に、東京都に行きました。いや河川のそこには街路灯は建てられませんから、じゃあ
何で今ごろになって建てられるのかっていう問題も出てくるわけですよ。それだけの鋭意努力してきたのかと、
ならば市単独の事業というのは、そこで発生してくるんじゃないですか。要するに一般質問だとか、議員だど
か市民から言われる前に、行政側としてはどういうふうに取り組みをしてきたのかっていうことを逆にこの14
年以降まとめてもらった、18年度も入っておりますけど、また含めて今後どのように取り組んでいくのかを
ちょっとお聞かせ願えればありがたいなと思います。

○企画財政部長（浅見敏一君） 行政としてそれぞれ課題に取り組んでおりますが、市の事業につきましては、
まずは大きくは基本計画から入りまして、実施計画の中で取り組む事業で、そうしますと複数年度の計画に
なっております。それを各年度ごとに実行していくというのが一つございます。それから先ほど委員さんおっ
しゃいましたように、個々の事業をどのように年度計画し、実行していくかということもありますし、また計
画に現実に乗っていないものでも、速急あるいは早急に計画実行するという単年度で予算で入っておりますので、それらを市は限られた予算、財源の中で取り組んでおりますので、その取捨選択をし、これが新た
な事業としてここに盛り込まれたということでございますので、今後とも第3次の行革の中でも取り組むべく、
それぞれの項目立ていたしました。と同時に、さらには第2次の計画の19年度以降の計画事業がありますので、
これらを加味しまして、これから実行していくということで計画させていただきたいと思っております。

今の質問については以上なんですけれども、加えまして、先ほどの事業別の一覧でございますけれども、
きょう付けでお手元に配付をさせていただき予定で準備をさせていただいております。よろしく願いいたし
ます。控室の方に配付させていただき予定であります。

済みません、以上でございます。

○委員（木下光雄君） いろいろこうやって毎年事業をやってもらって感謝してるところであります。財政が厳
しい厳しいのは事実でありましょうけれども、どこからも補助金が出なくて、東大和市で事業を計画、実行し
たのはあるもんなんですか。

○企画財政部副参事（宮鍋和志君） 補助金をいただいてなくて、事業したものということなんです。例えば
平和月間ですね、こちらは皆そうでございます。補助金はいただいておりません。あと第三次基本計画とか、
そういう策定もそうでございます。農業フォーラム、工業フォーラム、それぞれそうでございます。あとは情
報セキュリティポリシーを作成したり、職務給を導入したり、これらは補助金いただいてございません。

以上でございます。

○委員長（大后治雄君） 御質疑はございませんか。

○委員（木下光雄君） ここに17年度でしょうか、学童保育所第八クラブの改築というふうなのがあるんですけども、18年の1回目の議会、2回目の議会、どちらだか定かではありませんけれども、一般質問等で学童保育所の件について質問したんですけども、そういうふうなのはここにはまだこれから実施の段階には明記されていないものですから、その辺のところなんかもこういうふうな席でお尋ねしてよしいものなのかどうか。

○助役（小飯塚謙一君） 今御質問の関係につきましては、具体的に七と九の学童だと思いますが、それにつきましては、今年度予算の中に確かに設計がのっかっております。そして一部につきましてはたしか都市計画道路ができましたので、その西側に一部用地を来年度買いたいという形で、そこに設計を変更したいということで、一応会派の説明の中では御説明した経過があるかと思っております。

以上でございます。

○委員（中間建二君） 前回の委員会では、この第2次の行革の取り組みの成果ということで数字をお示しいたきまして、今回はその間の市側で取り組んでいただいた新規事業ということで今御説明をいただいたところではありますが、一方でこの行革として削減また効率化の努力をしていただきながら、また当然私も議員として一般質問等で要望させていただく場合もありますし、さまざまな市民ニーズやまた国や都の制度を踏まえて市でも実施しなければいけないということで、当然そういう事業も出てくるかと思っておりますので、一方で削減をしながら、また予算をまた他の分野に配分しなければいけないという、そういう御努力があるかと思うんですけども、その点のですね、要は予算組みをする中で、財源を生み出す努力っていうことについてはどういう御認識でこの間取り組んできたのか。

要は予算があるから一方で新規事業、支出をするという考え方もあるでしょうし、また新規事業に取り組まなければいけない、支出しなきゃいけないものが、市民ニーズや議会の動向等も踏まえてやらなきゃいけないものがあるから予算を生み出さなきゃいけない、削るとこ削んなきゃいけない、どっちが先かということもあるかと思うんですけど、その辺の予算の組み立てと執行等、毎年度ぎりぎりのところで今御努力いただいているわけですけども、その点どういうふうな御認識を持っていらっしゃるか確認したいと思います。

○企画財政部長（浅見敏一君） ただいまの御質問いただいた中で、行革と申しますと財政、財源的な削減等を考慮し計画をしていくということが一つございます。それと同時に市民サービスの低下をせずに向上を図るという一つの目標もございます。新規の事業、新たに事業毎年度予算化いたしますが、これについてはまず計画が、先ほどもちょっとお答えさせていただきました計画が、事業ございまして、それをどうやって予算で具現化するか。段階的には、実施計画が3カ年ありまして、直前になりますと予算編成ということで査定をして、実施計画にのっているもの、それが新たにその年度内に生じて次年度予算計上どうかという議論があります。これを加味いたしまして、実際フレーム的に実現可能かどうかということがかなり実はこの時期にこれから入るんですけども、一番課題となってまいります。

そうしますと実施計画にのっている計画事業がどれだけ達成できるか、新たな需要に基づく実行がどれだけできるか、最終的には財源がどこまで持っていけるかということがありますので、それらが一番苦慮するところなんですけれども、何よりも行政としては住民サービス、住民福祉ということが前提ですので、その中で極力実現させるように努力をしているという現状ですので、したがって新たな事業の取り組みも、やはり計画のものもまず第一義的に考えながら予算組みをしているっていうことで予算の努力といいたいまいしょうか、さしていただいております。

以上でございます。

○委員長（大后治雄君） 御質疑はございますでしょうか。

○委員（尾崎保夫君） 今回のこの新規事業ということでも、今現在先ほどお話あった当年度あるいは来年に向けての予算組みをこれからしてらっしゃるということだと思んですけども、もう何年も前から、要するに計画ができたときに、例えば第2次の大綱の推進計画の財政安定化計画等においては、財政の安定という意味ではやはり財調等について一定の貯金とか積み立てを考えなきゃならないと。そのとき出た数字としては、財政の規模の1割ってということで、大体13億円ぐらいを財調に積んでおかないと安定した財政運営ができないんじゃないかというふうな御答弁があったと思うんですけども、現実問題としてそれを積み上げるのは非常に難しいということで、努力はしてるけれどもということで、そのまま現在まで来てらっしゃるのかなというふうに思うわけですけど、今回ここに出された新規事業ということで、過去からのものがあるわけですけども、その裏側には当然財源がついて回るという形になるかと思うんですけども、財源という意味は、一般財源というふうに、もっと厳しく言えば経常一般財源という言い方になるかな——税が中心になるかなとは思んですけども、そういうものを中心にこの裏側に、要するにこの新規事業の裏側について、それらがあるからこれらの事業ができたというふうに考えるわけですけども、その新規事業やるに当たって、それらの一般財源、経常一般財源を入れて、かつ特定財源と言われるいろんな種類がありますけども、補助金や起債その他使用料、手数料といろいろとありますけども、そういうふうなものを入れてこの新規事業が行われてきたということで、そのバランスをどうとってきたのかっていうか、きてないというふうに私は思ってるんですけども、今後従来と同じような感覚ではだめなのかなというふうに思うわけですね。

ですから企財部門という会社で言えば取締役会とは言わねえかな、取締役会、理事者レベルになってしまうかもしれませんが、それらに対して数字をきちっとつくるといふ部門なわけですから、少なくとも経営をするという感覚を持っていかないと、いつまでたっても自転車操業的な財政運営になっているわけですから、そこから脱することはできないというふうに考えるわけですね。

今後こういうふうな資料をいただいたんですけども、この資料をもとに何かを判断する。要するに私が、具体的に言えば現状の厳しさを判断するというのは、これは無理だと。この中身が見えなくてはまず無理だ。先ほど森田委員が言ったように、市単だとか補助事業いろいろとあると思うんですけども、その中身が見えないと判断するのは難しいだろうと。そして、そこに入れる経常一般財源がどう入ってってるのか、その伸びですね、そういうふうなもの。要するに歳入側のものもしっかりそこに、要するにそこで見てかないと判断するのは難しいかなというふうに思うわけですね。

現実に新規事業をいろいろとやってこられたということは、市民福祉の向上ということで大きなプラスだというふうには理解するわけですけども、その裏側で支えている財政的な問題が今すごく大きな課題になっているというふうに理解してますので、その辺をどうとらえていくのかですね。特に来年の予算に当たってどのように取り組んでいくかというのをこの委員会としても、過去からの行革の成果とともに今後どうしていくのかということだというふうには思うわけですけど、特に交付税の大きな減額があって、その対処が今どうなってるのかという段階なわけで、対処できるにしても従来と違ったスタートラインですか、19年度スタートラインに立っていかざるを得ないというふうに考えますので、その辺のところをぜひこの新規事業に対する財源のとらえ方、過去のとらえ方、それから新年度新しい年度に向かってのとらえ方っていうものを考えてらっしゃるかなというふうに思うんですけども、その辺のところをちょっと概要でも結構ですでお話ししていただければ

と思うんですが。

○企画財政部長（浅見敏一君） 今事業を行うには財源ということでお話しいただくと理解しておりますが、毎年度予算編成については、非常に近年の編成については苦慮しております。それはやはりいわゆる一般財源が非常に限られておりますし、行政需要といたしますと一方ではかなりの要望、要求がございます。それを具現化していくということが予算になるわけですが、まずは市の方向、つまり総合計画があり、それぞれの計画があり、直近の実施計画から予算編成となります。

そこで例年推計するのに財政収支を見るのは非常に難しくなっております。したがって、まず予算編成するに当たっては、歳入の確保、歳入があって財政規模、予算規模があるのかという観念で考えますが、やはり歳出を見ますとどうしてもそれに伴う財源が不足してまいりますので、この財政収支をまず推計するに当たっても収入の確実な線を捕捉しながら、加えて特財がどの程度見込めるか、これらによりまして予算編成いたすんですが、当市の予算のレベルといたしますと240億円ぐらいがずっと継続しておりますけれども、しかし一方では財政的な面で見ますと非常にそれを確保するの難しくなっておりますので、やはり今後の予算編成の中で考慮しなくてはいけないのは歳出、この歳出の抑制、これは真に必要な事業、計画にのってるものをまず実現する計画をしつつ、場合によっては計画事業も若干繰り延べのものも出てまいりますので、そのように財政収支をまず見ながら考えていくということで考えておりますので、今後とも歳入についての確実な捕捉をしながら予算編成に臨みたいと思って、今年度も各課ともに厳しい予算編成の方針を出してございまして、経常経費の削減等も要求しております。そういう状況でありますので、今後とも厳しい予測でございますけれども、何分住民サービス、福祉の実現ということで努力していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

以上です。

○委員長（大后治雄君） お諮りいたします。

本資料についての質疑はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大后治雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

それでは、改めまして今後のタイムスケジュールにつきまして行政側からお話をちょうだいしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

それではお願ひいたします。

○企画財政部長（浅見敏一君） 第3次の行革の大綱と推進計画のスケジュールということで現状の予定でございますけれども、11月7日にまず行革の推進本部会を開催いたしたいと思っております。その際に第3次の行革の大綱案、推進計画案の説明をいたします。それで意見を聴取いたします。その後各会派の皆様には11月13日から20日の間、それぞれの会派ごとに日程を調整させていただきました。その日程に沿ひまして、会派に対しまして御説明をさせていただきます。その際にまた意見等もございまして、それらを聴取いたしまして、今後庁内で再度内容を整理いたしまして、市民の皆様にも意見をいただくということも必要でございますので、12月の、今予定ですけど、1日から11日ぐらいの期間をかけまして、市報に掲載して御意見をいただくと。それを受けて最終的に行革推進本部を開催いたしまして、決定ということの運びといたしたいと思っております。それで議会への配付は今の予定ですと議会の最終日近くなってしまうと思ひますが、お配りをさしていただければと思っております。一応年内で決定し、配付をするということでスケジュールを組んでございまして。

以上です。

○委員長（大后治雄君） ありがとうございます。

議事運営の都合上、ここで暫時休憩いたします。

午前10時26分 休憩

午前10時32分 開議

○委員長（大后治雄君） 引き続き会議を開きます。

○委員（森田憲二君） この際、委員会から資料をぜひお願いしたいなという部分があります。

それから、ついでに言って申しわけないんですけど、来年いずれにしても改選期に入りますから、委員会として何回もこの行革の問題を取り扱うわけにはいきませんから、次の委員会でもってフィニッシュしていただきたい。そのために資料を要求させていただきます。

本日の新規事業についての資料本当にありがとうございました。深く感謝申し上げたいと思います。

それと正反するのではないんですけど、対比をして検分というよりも検索をしてみたいという部分もございいますから、できればなくなった事業、それからこれは行革の中でなくなった、または制度上なくなった、いろんな事業があると思うんですよ。そういったものをできれば拾い出して一覧にして次回の委員会に提出していただき、その中で説明をしていただき、委員会としてはこの調査の中では一定の調査が得たのかなというふうな方向に持ってきたいもので、まず1点目は資料要求。

それから次回の総務委員会においてこの所管事務調査についてはフィニッシュということで委員長においてよろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（大后治雄君） ただいま森田委員から、削減した事業につきましての資料要求がございました。

お諮りいたします。

ただいまの資料を本委員会として要求することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大后治雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

なお2点目につきましては、正副委員長の方で一たん引き取らしていただいて、協議をさせていただきたいと思いますが、それに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大后治雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

お諮りいたします。

本日の調査はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大后治雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（大后治雄君） これをもちまして平成18年第5回東大和市議会総務委員会を散会いたします。

午前10時34分 散会